

いそファミ通信

4月号



年度が変わり、いろいろと変化の多い月ですが、一宮市でもワクチン接種に関して一部変更した部分がありますので、おしらせいたします。

【Hibワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン】

今までは、一部が公費負担となっていました。4月からは全額公費負担となります。

【BCGワクチン】

今までは、接種時期について、生後3ヶ月～6ヶ月となっていました。
変更後 生後3ヶ月～1歳に至るまでの間(誕生日の前日)となりました。

【DT(ジフテリア、破傷風)ワクチン】

今までは対象年齢が、小学生6年生の間となっていました。
変更後 13歳の誕生日の前々日までとなりました。
H24年度にまだ接種できていなかった対象のお子さんは、13歳の誕生日前々日まで公費で接種できます。

【子宮頸がん予防ワクチン】

いままでは一部公費負担となっていました。4月からは、**中学1年生～高校1年生の女子については全額公費負担**となります。(ただし、他市からの転入者等で、すでに接種を開始している小学校6年生は対象に含まれます。)

DTワクチンや麻疹・風疹ワクチンの3期、4期接種のお子さんが久しぶりにワクチンを接種しにやってくる母子手帳を拝見すると、接種できる時期に未接種のまま過ぎてしまった、というお子さんをよくお見かけします。ワクチンは病気から命を守るために非常に有効なものです。久しぶりに母子手帳を開いて、お子さんのワクチン歴を確認してみてください。

住民検診のご案内

本年度も5月から10月までの期間、一宮市の住民検診が始まります。日本人の死亡数第1位は、ここ数年悪性新生物となっています(厚生労働省平成24年死亡順位別死亡数の年次推移より)。しかし、がんは早期に発見、治療することで大事に至らずにすむケースも多くあります。1年に1回は検診を受けて、自分の生活を振り返る機会としていただくとよいのではないのでしょうか。当院では胃癌検診については予約検査となっております。毎年10月に予約が集中し、そのために胃癌検診が受けられなかった、ということもあるようです。検査は5月からですが、今からでも予約は可能です。早めの予約をおすすめしております。

* 肺がん検診

肺がんは、日本のがんによる死亡数のトップになっています。無症状のうちに検診を受診し、早期のうちに治療すれば、約8割が治るようになりました。

* 胃がん検診

近年、日本人の胃がんによる死亡率は減少しています。しかし、胃がんになる人の数は、人口高齢化の影響で非常に増えています。つまり胃がんになる人は増加しているが、完治する人が多いため、死亡する人はあまり増加していません。これは日本における胃がん早期発見・早期治療の進歩が著しい証拠と考えられます。胃のX線検査によって、70～80%の確率でがんが発見できます。この検査は、胃がんによる死亡者が多かった日本で開発されたもので、日本が誇る検査技術です。

* 大腸がん検診

大腸がんは、かつて日本では少ないがんとされていましたが、2000年には、大腸がんになった患者数が毎年10万人を超えるようになっており、急速に増加しています。

その他 対象者は前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診を当院でうけていただくことができます。